

先端技術が生まれる現場へ。 日本の裏側の新興国へ。 東レの営業パーソンは、 まさに、モノづくりの司令塔。



Tsubasa Shimonishi

ひと口に樹脂といっても実にさまざま。新人時代、営業として家電用途向け樹脂を扱っていた下西は、約4年半におよぶブラジルへの海外若手研修・駐在を経て、現在、自動車部品用途向け樹脂を担当。「次世代自動車市場の拡大に伴い、高品質の東レ製品にはますます注目が集まっている。素材が社会に貢献をしていることが、もっと見えるようになるはずです」と下西は語る。

東レ株式会社

下西 翼

自動車材料事業第2部
東京自動車材料販売課

「アミーゴ」の洗礼に 翻弄されたブラジル時代

「当初は、「アミーゴ」という言葉に翻弄されてばかりいました。下西翼は、約4年半を過ごしたブラジル時代を振り返って、そう語る。「アミーゴ」とはポルトガル語で「友達」の意味。親しみを込めて、現地では挨拶代わりに交わされる言葉だ。「もともとブラジルは、人と人の信頼関係をベースにしたフットな社会。また、東レブランドが通用しない新興国でもあり、「下西翼」という個人で勝負をしていく世界だった。だからこそ、取引先の「アミーゴ」になれるかが重要なポイントのひとつでした。」

「世の中に貢献することこそが、いい仕事」だと、下西は断言する。

だからこそ、「自動車メーカーや自動車部品メーカーの要望に応えるのは当たり前。その先にいる消費者が何を求めているのかをつねに把握して、技術部署とともに、モノづくりをしていくことに全力を注ぎたい」と下西は言う。

素材を素材のまま、人々が目にすることは少ない。だが、世界がすべて素材でできているのはまさにもない事実だ。「素材をつくる」ということは、価値をつくり、社会を変えていくことだと下西は語る。

自分で進んですべてやる、 という醍醐味がある

日本式を捨て、現地のカルチャーになじむことでビジネスを推進する。そんな新たなスタイルを身につけたことに加え、下西にとって大きな糧となったのが、ひとりの東レパーソンとしての幅が格段に広がったことだろう。扱う素材がオール東レ製品になったことで、多岐にわたる関連部署とのネットワークも生まれた。製品は海外工場から南米に直接輸入していたため、本社担当部門はもちろん、世界中と連絡を取り合いました。

さらに、営業以外の業務にも携われたことも大きかった。「最終的には、日本人スタッフは私と社長のみになりました。だから総務も、人事も、経理もすべて私がやらなければならぬ。お金の出入りを含め、ある意味で経営者としての視点が養われたと思います。」

語学研修半年、実務研修1年、そして正式な駐在期間約3年。ブラジルで過ごした約4年半で、下西のキャリア感も大きく変わった。日本に帰任したばかりの下西はすでに二度目の海外駐在を希望している。「個人の裁量権がより大きい新興国で、さらに自分を鍛えたいという想いがあります。日本に比べれば案件の数自体は少ないけれど、その分、現地ではよりダイナミックな手応えが返ってくる。その魅力に取り憑かれたのだと思います。」

技術系も事務系も、 モノづくりの主役になれる

素材メーカーはその素材の革新性や独自性など、技術的な側面で語られることが多い。だが東レの場合、事務系の営業社員が、モノづくりの司令塔役として、製品開発や生産など多くの関係者を巻き込んでいく。現在、本社樹脂部門に戻り、自動車部品用途向け樹脂の営業を担当する下西が解説する。「東レが得意とするのは、スーパーエンジニアリングプラスチックと呼ばれる、高機能樹脂です。耐熱性、耐薬性、軽量性など

変わらない、 「外に出て活躍したい」という志

「外に出て活躍したい」という想いから、営業職を志望した下西。中でも、事業分野が極めて広い東レは、携わることになる仕事に多彩な出口があった。入社して、東レの外の人々とも出会い、日本の「外」のマーケットにも触れた。体感した「外」の無限の広がり、学生時代の下西の想像をはるかに超えていた。

「東レは素材メーカーなので、B to Bビジネス。でも、その先にはつねに消費者がいます。消費者、ひいては社会に役立っていることを実感できるのがやはり営業としての大きなやりがいです。しかも、つくっている製品が膨大なその裾野はとて広い。日常生活のさまざまなシーンに、自分が担当した製品が登場してくるんです。素材メーカーの営業として、努力したことが、やがて社会にとっての新しい価値になり、社会を潤し

少数精鋭の営業として、 すべての東レ製品を担当

2012年末に、日本人社員が駐在しはじめたばかりの新しい拠点「Toray do Brasil Ltda.」の現地法人に下西が着任したのは、2013年のこと。当時入社5年目の下西は、海外でのスキルアップを図るため、海外若手研修制度に手を挙げた。ホームステイをしながら、現地で半年の語学研修を受けそのまま実務研修生としてオフィスで業務をはじめた。2007年に入社し、樹脂関連素材の担当営業だった下西は、少数精鋭のブラジルでは繊維、フィルム、炭素繊維、水処理膜など、東レ製品をくまなく担当した。「語学研修で簡単な日常会話はできるようになってい

ました。さらにアルゼンチン、コロンビア、ペルー、チリなど南米各国にも足を運んだ。「ブラジルはポルトガル語、その他の南米各国はスペイン語。場の雰囲気の中で、片言で喋るしかない場面もよくありました。ただ、現地語でアプローチをすることに大きな意味がある。下手でも何でも、相手の文化の中に入っていくことで、はじめて受け入れてもらえるというのは実感しましたね。」



Company Information

素材には、社会を変える力がある。

東レでは「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」という企業理念のもと、社員は事務系、技術系ともに、日々、「こんな素材があれば面白いかも」「これからはこんな事業が求められるんじゃないか」と、「新しい価値」を生み出すためのテーマを追い求めています。「新しい価値」を生み出すためには、好奇心を持って様々なことを吸収し、実行に移して行く行動力が大切ですが、それだけではなく、自分なりの考えや信念、志を持つことが非常に重要だと考えています。世の中にあるものならそこから買ってこればいいですが、当社は世の中に無いものを創造する会社です。だからこそ、自分なりの信念や志を、素材や事業に反映させていくことができます。世界にインパクトを与える新しい「何か」を生み出したい、社会を変革する大きなイノベーションを実現したい、そんな考えを持っている方とお会いできるのを楽しみにしております。

会社概要

社名/東レ株式会社 英文社名/TORAY INDUSTRIES, INC. 略称/東レ
設立/1926年 資本金/1,479億円(2020年3月末日現在)
代表者/代表取締役社長 日覺 昭廣 本社所在地/〒103-8666 東京都中央区日本橋室町2-1-1

